

## 現場代理人兼務届出書

提出日を記入

令和〇年〇〇月〇〇日

三 春 町 長

住 所 三春町字〇〇町〇〇番地

商号又は名称 株式会社〇〇〇〇

代表者氏名 〇〇 〇〇



現場代理人の兼務について、下記のとおり届出いたします。

なお、工事の施工に当たり、関係法令を遵守し安全管理及び工程管理に万全を期し、万一施工が不適切と判断されたときには、いかなる措置を受けても異議はありません。

## 記

現場代理人氏名	〇〇 〇〇		連絡先	(携帯番号等) 〇〇〇—〇〇〇〇—〇〇〇	
新規工事	発注機関	福島県三春町			
	工事番号	第〇—〇—〇〇号			
	工事名	〇〇〇〇工事			
	工事場所	三春町大字〇〇字〇〇地内			
	契約金額(注1)	¥〇〇〇〇〇〇〇〇円 (内消費税¥〇〇〇〇〇〇〇円)			
	工期	〇年〇月〇〇日～〇年〇〇月〇〇日			
	発注担当課	〇〇課	監督員	〇〇 〇〇	
現行工事	発注機関	福島県三春町			
	工事番号	第〇—〇—〇〇号			
	工事名	〇〇〇〇工事			
	工事場所	三春町大字〇〇字〇〇地内			
	契約金額	¥〇〇〇〇〇〇〇〇円 (内消費税¥〇〇〇〇〇〇〇円)			
	工期	〇年〇月〇〇日～〇年〇〇月〇〇日			
	発注担当課	〇〇課	監督員	〇〇 〇〇	
現行工事	発注機関				
	工事番号				
	工事名				
	工事場所				
	契約金額				
	工期				
	発注担当課		監督員		

(注1) 落札候補者の場合は、契約予定額を記載すること。

※2件の工事を兼務する場合は2部、3件の工事を兼務する場合(※近接工事の場合のみ)は3部作成し、新規工事と現行工事の発注担当課にそれぞれ提出すること。

※発注機関が異なる場合は、相互の距離がわかる位置図及び配置現場代理人に係る経歴書を添付すること。

※本届出書は、三春町発注工事に適用するものであり、発注者が福島県の場合で、福島県に常駐義務緩和の承認を申請する場合は当該福島県の手続きによります。

(裏面)

現場代理人の常駐義務緩和に係る申請書の承認にあたって付す条件は、以下のとおりです。

- (1) 緩和が承認された工事現場において、次の次項を履行すること。履行されていないことが確認された場合には、緩和の承認を取り消すものとする。
  - ①現場代理人が不在となる工事現場においては、工事現場の取締りのほか、工事の施工に関する事項を処理できる責任者を指定し、必ず配置すること。
  - ②現場代理人は、必ずいずれかの工事現場に駐在すること。
  - ③現場代理人が工事現場を離れるときは、現場の安全管理の徹底を図るとともに、監督員と必ず連絡が取れる体制を構築すること。※ただし、緩和の承認を受けた工事の施工にあたっては、次の場合に限り上記①、②、③の義務事項を除外する。
  - ア) 工事が完了して竣工検査の待機中となっている場合
  - イ) 契約後の準備期間中で、工事に着手していない場合
  - ウ) 片方の工事が中止または休止となっている場合
  - ④現場代理人は、1日に1回以上は当該工事現場に駐在し、現場管理にあたること。
  - ⑤現場代理人は、労働安全衛生法及び労働安全規則に基づき、安全衛生推進者、安全衛生責任者などを選任すること。また、作業主任者が必要な作業においては必ず配置すること。
- (2) 緩和が承認された工事現場において、安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故や施工管理の不備等が発生した場合は直ちに緩和の承認を発注者の通知により取り消すものとする。
- (3) 受注者が工事発注者から現場代理人の承認を取り消された際に、新たな現場代理人を配置することができない場合には、工事発注者は解除権に基づき当該工事の契約を解除するものとする。
- (4) 現場代理人は、発注機関の監督員と現場立合等の日程調整を綿密に行い、工事施工に問題のないよう注意すること。